

三河商人道

PART
180

青年部とは 俺の人生そのものだ！！



いつも「がっはっはっはっ！！」と笑いの絶えない高原さん。取材当日も「がっはっはっはっ！！」と笑いながらの取材です。

記者：会社や仕事への思いを聞かせて下さい。

俺は、仕事が趣味。忙しいと楽しいし、暇だと本当につまらない。人の死と向き合う仕事だからこそ「ありがとう」「あなたに相談して良かった」と言われると本当にこの仕事をして良かったと思う。

記者：青年部に入会されたきっかけは？

俺は、今の岡崎店舗を建てる時にたまたま安城YEGに所属している業者さんがYEGの存在を教えてくれた。その人がYEG活動をもものすごく楽しそうに話をするから、それがきっかけで自ら岡崎商工会議所青年部に連絡をして入会したんだよ。俺って行動力あるだろ！

記者：高原さんにとって思い出に残る青年部活動は何ですか？

まずは、平成19年度初めて委員長をした時、3月例会(卒業式)担当でプロのマジシャンを呼んで大盛況。そして、今では恒例となっている会長の家族を初めて呼んだりもしたし、1年間の事業の振り返り映像も卒業式で初めて行った。次に、平成21年度の時にジュニアエコミーカレッジの担当委員長だった。その時は時間を沢山使ったけど、その当時の佐藤副委員長が俺なりに泊まり、すき焼きを食べながら話し合ったことを今でも忘れない。また、平成23年度、親睦委員長の時、辻村副委員長と三浦副委員長で色々話し合い、例会で初めて委員会対抗替え歌歌合戦を行ったことが思い出に残ってるよ。

記者：高原さんの趣味をお聞かせください。

俺の趣味は、誰もが知っているゴルフ。そしてカラオケ。みんなでワイワイしながら飲むお酒も大好き。特に麦焼酎の緑茶割は好きだな。

記者：最後に青年部とは・・・。

まず、最近出席する人が減ってきているけど、俺は何の為に青年部に入っているか。ただ単に会としての目的意識を強くしても意味がない。まずは来たら目的意識を持つ。それは参加するという目的意識。一部の仲間意識が強く、参加し難いと感じるかもしれないが、来てみると案外そうでもない。それと来なくなるYEGとは理事が立場だけの口だけではだめ。先頭に立ち行動していくことが大切。楽しく・甘く・厳しく。それが岡崎YEGだと思う。

記者：最後に一言。

寂しがり屋なので、これからも色々誘ってね！！



取材担当／広報委員会
大井 教史
櫻井 喜朗
富田 圭衣子
西森 紳司

